

雪嶺集

〈宮坂静生鑑〉

勇魚

小林貴子

黄金の日の出を迎へ勇魚取
一月の玉手箱めく文箱かな
初富士は小さき角つゝを二つ持つ
春駒の頭かしらが進む塀の上
わりきれぬ三羽で来たり初雀
新年を迎へてふつと無重力
銘仙も羽二重も好き嫁が君
あらたまの花札強き父なりき
梟と交信中の火星人
綿虫を数ふや二輪三輪と

